

見直しのポイントを考えるにあたって（資料）

目 次

I	人口・社会の動向	1
II	東久留米市のまちづくりについての市民等の意向・評価	9

I 人口・社会の動向

■ 高度成長期に人口が急増した東久留米市も、人口減少。高齢化も進む

- ・ 東久留米市は、昭和 30 年から 50 年の高度成長期に人口が約 1 万人から約 10 万人に増加するという、急激な人口増加を経験した都市です。（図 1-1）
- ・ その後人口の伸びは沈静化しました。昨年の予測によると、平成 27 年をピークに、その後は緩やかに減少していくものと見込まれています。（図 1-2）
- ・ また、急激に流入した高齢化を背景に、平成 32 年（2020 年）の東久留米市の高齢化率は、全国平均を上回る 30.5%に達すると予測されています。（図 1-3）



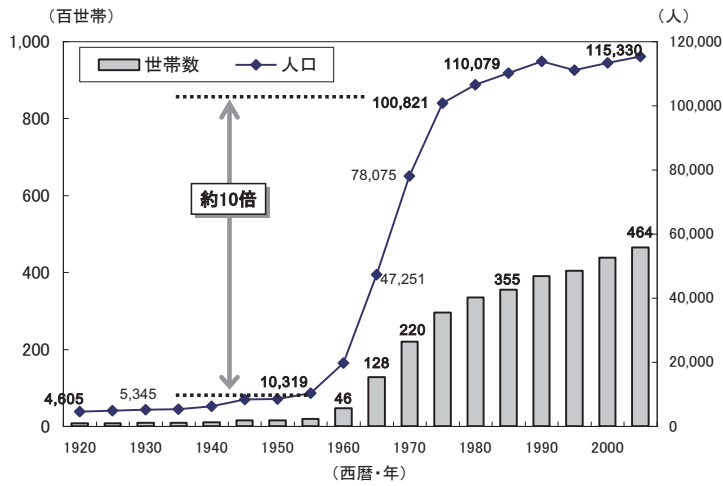
都市化は沈静化・社会は成熟化し、人々の価値観も変化

- ⇒ もう、そんなに拵がらなくてもいいのでは？既につくったものの有効活用も
- ⇒ あればいいというものではない。質や使いやすさも重要
- ⇒ 水・みどりや生き物、住んでいる地域を愛しもう

まちの活力やにぎわいが低下する懸念

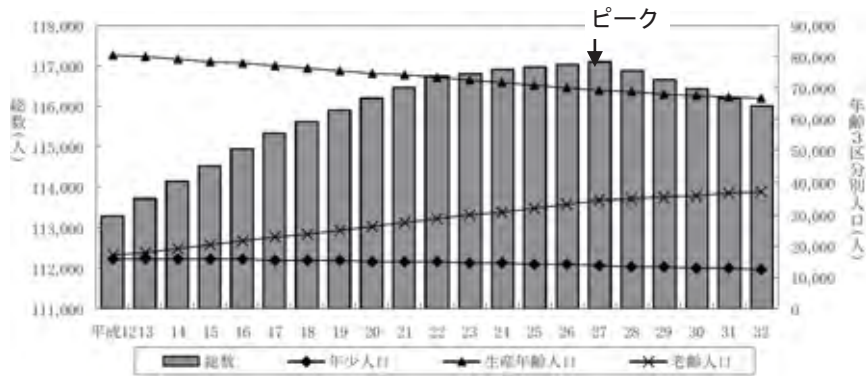
- ⇒ 市民が退職して、税収が減るのでは？市内の企業にがんばってもらわないと
- ⇒ 活動する人が減って、静か過ぎて淋しくなるのでは…

図 1-1 東久留米市の人口の長期推移



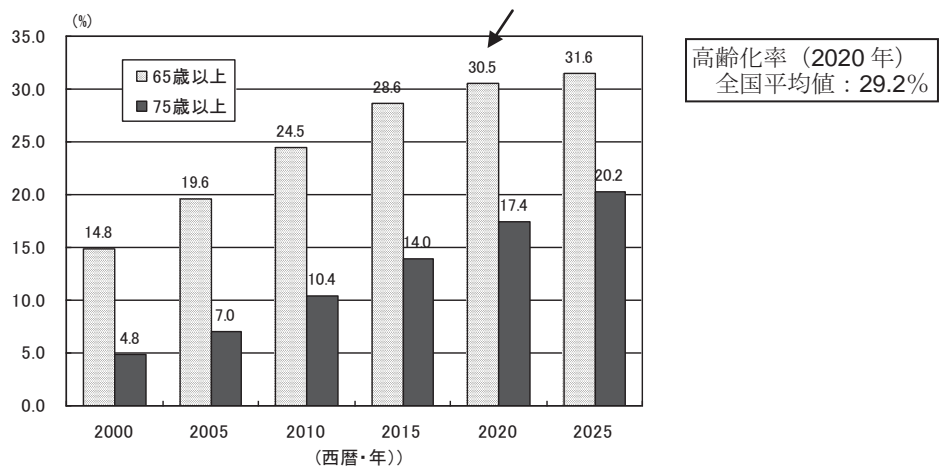
注) 人口、世帯数ともに、国勢調査 (各年 10 月 1 日) に基づく
資料) 東久留米市「統計東久留米」(平成 19 年版)

図 1-2 東久留米市の人口 (将来予測)



資料) 東久留米市「第 4 次長期総合計画 基礎調査報告書 別冊」(平成 21 年 3 月)

図 1-3 東久留米市の高齢化 (将来予測)



注) 2000 年、2005 年は、国勢調査結果。ただし、総数に年齢不詳者数を含む。
資料) 東京都総務局統計部調整課「東京都男女年齢(5 歳階級)別人口の予測」

■ 世帯数は依然増加傾向。世帯の小規模化・単身化と高齢化が平行して進む

- ・ 一方、世帯数は、目標年次の平成 32 年までは、依然増加すると予測されています。 (図 1-4)
- ・ 平成 17 年 (2005 年) を境に、単身・夫婦のみ世帯が、半数を超えます。 (図 1-5)
- ・ 平成 17 年で近隣市と比較すると、高齢夫婦世帯の割合が高い状況です。 (図 1-6)

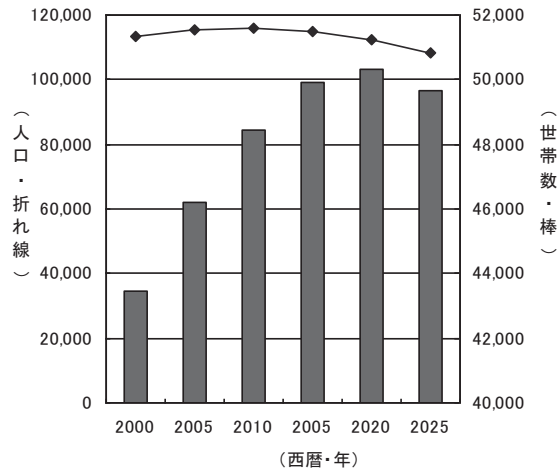
※現在見直しを行っている「東久留米市都市計画マスタープラン」の目標年次は、平成 32 年 (2020 年) です。



日々の生活に不安を抱える人、地域の支えを必要とする人が増加

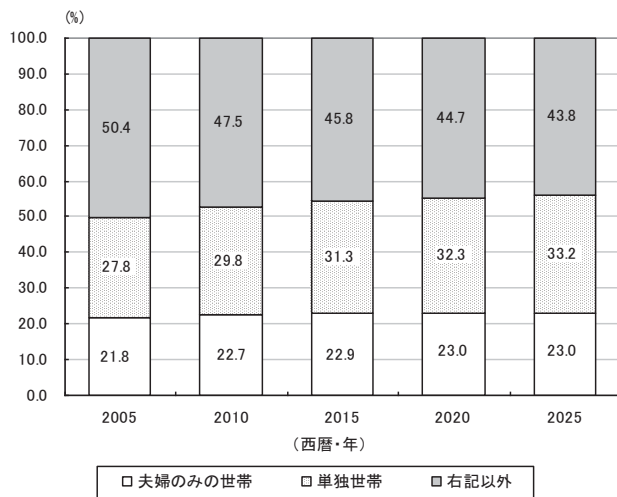
- ⇒ 高齢で、日々の買い物や生活が大変。いろいろ身近にあれば…
- ⇒ 一人住まいや高齢夫婦が増加。いざというとき、どうしよう…。地域は？

図 1-4 東久留米市の世帯と人口（将来予測）



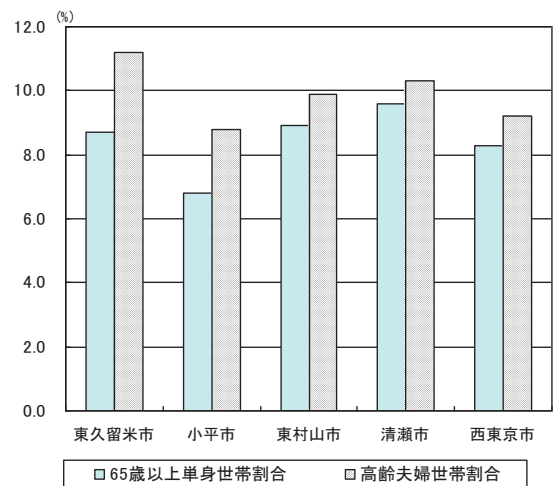
資料) 東京都「区市町村別人口の予測」(平成 19 年 3 月訂正版)
 東京都「東京都世帯数の予測」(平成 21 年 3 月)
<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/syosoku/sy-data.htm>

図 1-5 東久留米市の類型別世帯状況（将来予測）



資料) 東京都「東京都世帯数の予測」(平成 21 年 3 月)
<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/syosoku/sy-data.htm>

図 1-6 高齢者世帯の状況（平成 17 年）



資料) 東久留米市「第 4 次長期総合計画基礎調査報告書別冊」
 (平成 21 年 3 月)

■大地震や集中豪雨などの自然災害や機会犯罪などへの不安が高まっている

- ・中越、玄海島、宮城内陸など、近年、多くの大地震が起きています。（表 1-1）
- ・集中豪雨も増加し、「ゲリラ豪雨」という新語も生まれました。（図 1-7）
- ・身近な街頭での犯罪が増加する傾向にあります。（図 1-8）



安全・安心の確保への関心が高まっている

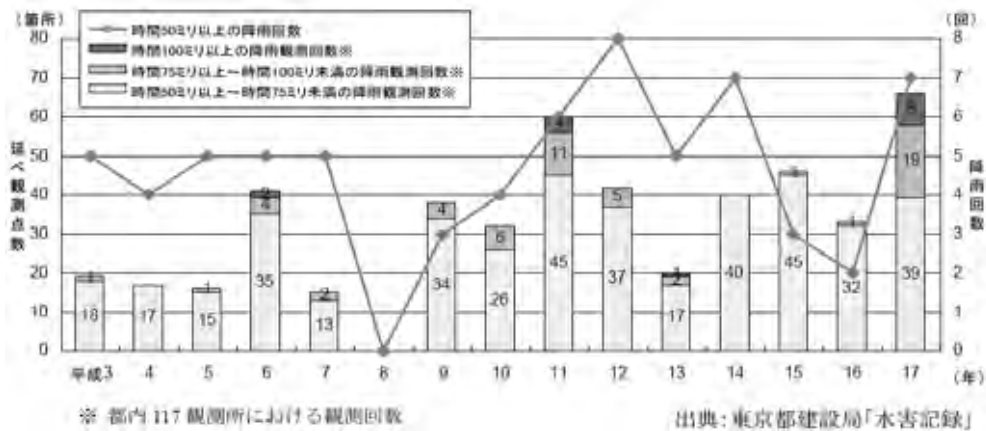
- ⇒ 大規模災害への備えは？ 安全に避難できるか？ 被災したら？
- ⇒ いつ犯罪に会うか、他人事じゃない時代

表 1-1 近年国内で発生した大規模自然災害

名称	発生日
新潟・福島豪雨(7・13水害)	平成16年7月13日
新潟県中越地震	平成16年10月23日
福岡西方沖地震(玄海島)	平成17年3月20日
能登半島自身	平成19年3月25日
新潟県中越沖地震	平成19年7月16日
岩手・宮城内陸地震	平成20年6月14日
集中豪雨(東海)	平成20年8月26-31日
集中豪雨(中国・九州北部)	平成21年7月19-24日

資料) 気象庁ホームページほか

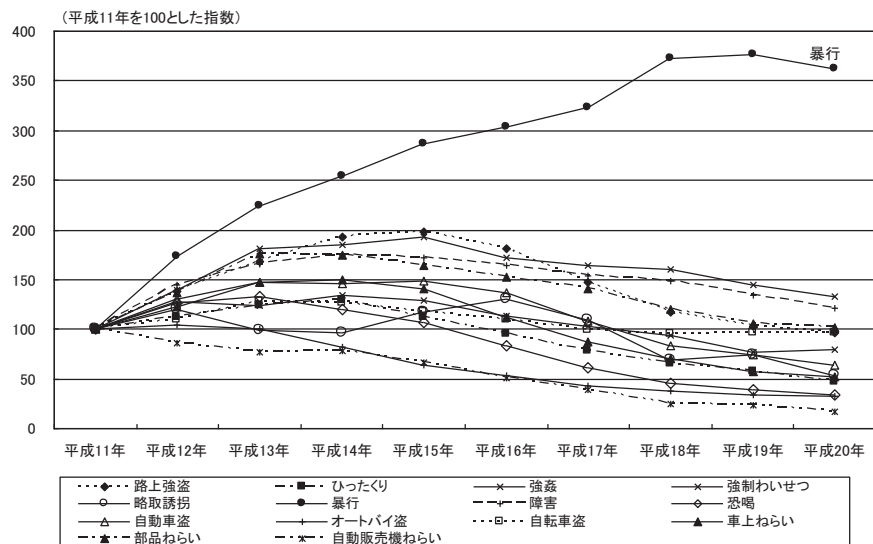
図 1-7 集中豪雨の発生状況



出典) 東京都「東京都豪雨対策基本方針」(平成19年8月)

原典) 東京都建設局「水害記録」

図 1-8 街頭犯罪の発生状況



注) 街頭とは、道路上、駐車(輪)場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭
 認知件数: 警察において発生を認知した事件の数 強姦、強制わいせつ、略取誘拐、暴行、障害、恐喝
 は、街頭の件数のみ。自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらいは除く。

資料) 警察庁「平成20年の犯罪情勢」(平成21年5月)

■ 深刻化する地球温暖化・ヒートアイランド

- ・ 国も東京都も、温暖化ガス 25%削減をめざしています。（表 1-2）
- ・ 都市そのものも低炭素型に変えていくことが求められています。（表 1-3）
- ・ 東京都では 2010 年 4 月より、「温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度」を導入し、燃料等を大量に使用する対象事業所に対して、温室効果ガスの排出制限を定めています。今後、地域間で排出権を取引する時代も来そうです。（図 1-9）
- ・ 東京の年平均気温は上昇し、熱帯夜も増加傾向です。（図 1-10、1-11）



低炭素・循環型のまちへの転換し、CO₂ 排出を削減。排出権取引への対応も。

- ⇒ 資源の循環利用だけでなく、まちそのものを低炭素型に変えないと
- ⇒ CO₂ を吸収できることもウリになるのでは？
- ⇒ 熱を出さない、溜めない、さますまち？

表 1-2 民主党・東京都の CO2 削減意向

- ・2009 年(平成 21 年)の政権交代の後、民主党の鳩山首相は「二酸化炭素などの温暖化ガスを 2020 年(平成 32 年)までに 1990 年(平成 2 年)比 25%削減する」という中期目標を表明しました。
- ・東京都も「10 年後の東京」(平成 18 年 12 月)の中で、「2020 年までに東京の温暖化ガス排出量を 2000 年比で 25%削減する」という目標を掲げています。

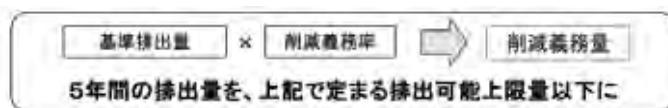
表 1-3 低炭素都市づくり推進計画(抜粋)

(1) 地方の特色をいかした低炭素型の都市・地域づくり

- ・低炭素型の都市・地域の重要な構成要素である、集約型都市構造の実現や公共交通機関の利用促進等については、地域における温室効果ガスの排出抑制等のための計画の策定や計画に基づく対策の実施に対する支援、大規模集客施設等の都市機能の適正な立地の確保、中心市街地の整備・活性化による都市機能の集積促進、鉄道新線の整備や L R T (Light Rail Transit)・B R T (Bus Rapid Transit) の導入促進など公共交通機関の利便性向上、都市・地域総合交通戦略の推進を行う。
- ・また、これと併せて、緑地の保全や都市緑化等の推進、下水道における資源・エネルギーの有効利用の促進、地区・街区レベルにおけるエネルギーの面的な利用の推進、農山漁村における様々な資源やエネルギーの有効利用の促進を行う。(つづく)

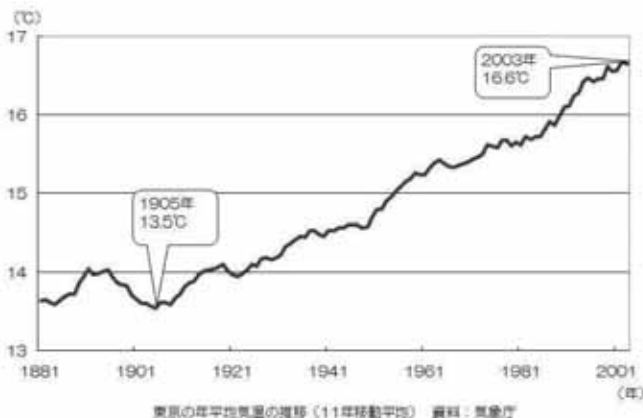
図 1-9 大規模事業所の排出制限(東京都環境確保条例)

- 対象事業所：前年度の燃料、熱、電気の使用量が、原油換算で 1500 kℓ以上の事業所
- 総量削減義務の対象ガス(特定温室効果ガス)：燃料、熱、電気の使用に伴い排出される CO2
- 削減計画期間：5年間(第一計画期間:2010~2014 年度)以後、5年度ごとの期間
- 総量削減義務の履行手段：「1 自ら削減」「2 排出量取引」



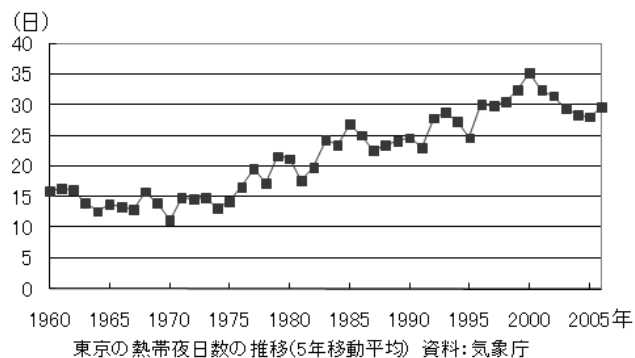
出典) 東京都環境局ホームページ

図 1-10 東京の年平均気温の推移



注) 平均上昇気温：他の大都市 2.4℃、中小規模の都市 1℃
出典) 東京都環境局ホームページ

図 1-11 熱帯夜発生日数の推移



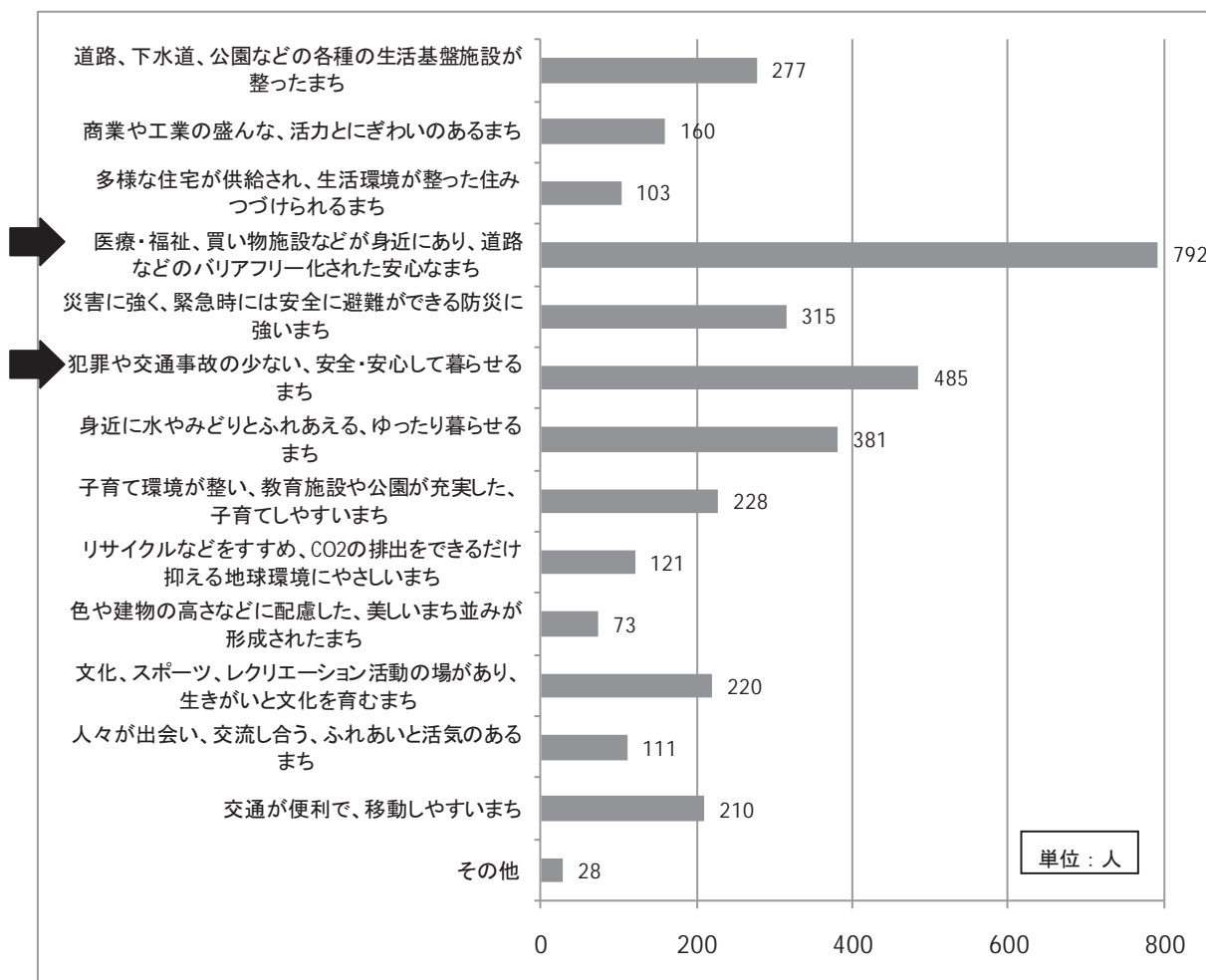
出典) 東京都環境局ホームページ

Ⅱ 東久留米市のまちづくりについての市民等の意向・評価

■ 医療・福祉、買い物施設などが身近にあり、道路などのバリアフリー化されたまち、犯罪や交通事故が少ない安全・安心なまちが求められている

- ・ 「医療・福祉、買い物施設などが身近にあり、道路などのバリアフリー化された安心なまち」が最も支持を集めました。次いで、「犯罪や交通事故の少ない、安全・安心して暮らせるまち」が多くなっています。（図 2-1）

図 2-1 将来、どのようなまちになったらよいか



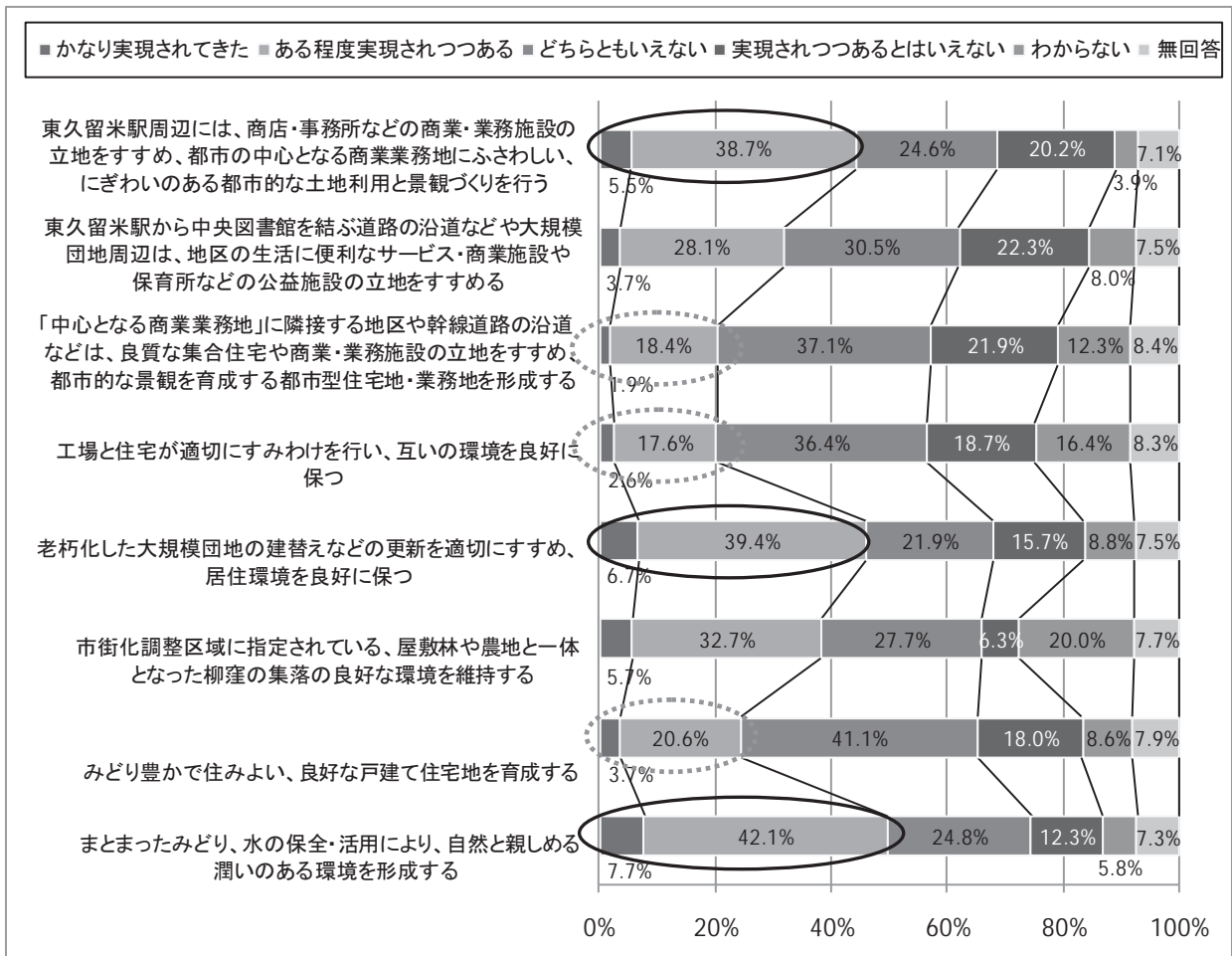
資料) 東久留米市都市計画マスタープランの中間見直しのための市民アンケート (平成 22 年 1 月実施)

- 「自然と親しめる潤いのある環境の形成」や「東久留米駅周辺のにぎわい」などは、およそ4割の市民が実現・実現しつつあると感じている
- 「工場と住宅のすみわけ」「良好な戸建て住宅地の育成」など住環境に関することや、「幹線道路沿道などの都市型住宅地・業務地の形成」については、実現があまり実感されていない

- ・ 「自然と親しめる潤いのある環境の形成」「大規模団地の建替え」「東久留米市周辺のにぎわい」については、実現・実現されつつあると感じる市民が多くなっています。
- ・ 一方、「工場と住宅のすみわけ」「中心となる商業業務地の隣接地や幹線道路沿道の都市型住宅地・業務地の形成」「みどり豊かで住みよい、良好な戸建て住宅地の育成」については、実現・実現されつつあると感じる市民は少ない状況です。

(以上、図の2-2)

図 2-2 都市計画マスタープランによる土地利用の方向性の達成実感



資料) 東久留米市都市計画マスタープランの中間見直しのための市民アンケート (平成 22 年 1 月実施)

■満足度が低く、重要度が高い（施策優先度が高い）のは、

- ・道路通行環境　：自転車、歩道、踏み切り解消など、
- ・安全の確保　　：死角・暗さの解消、自然災害や避難への安全性など、
- ・生活利便性・安心：身近な生活拠点づくり、スポーツ・医療・福祉施設整備、施設のバリアフリー化など

■満足度も、重要度も高いのは、

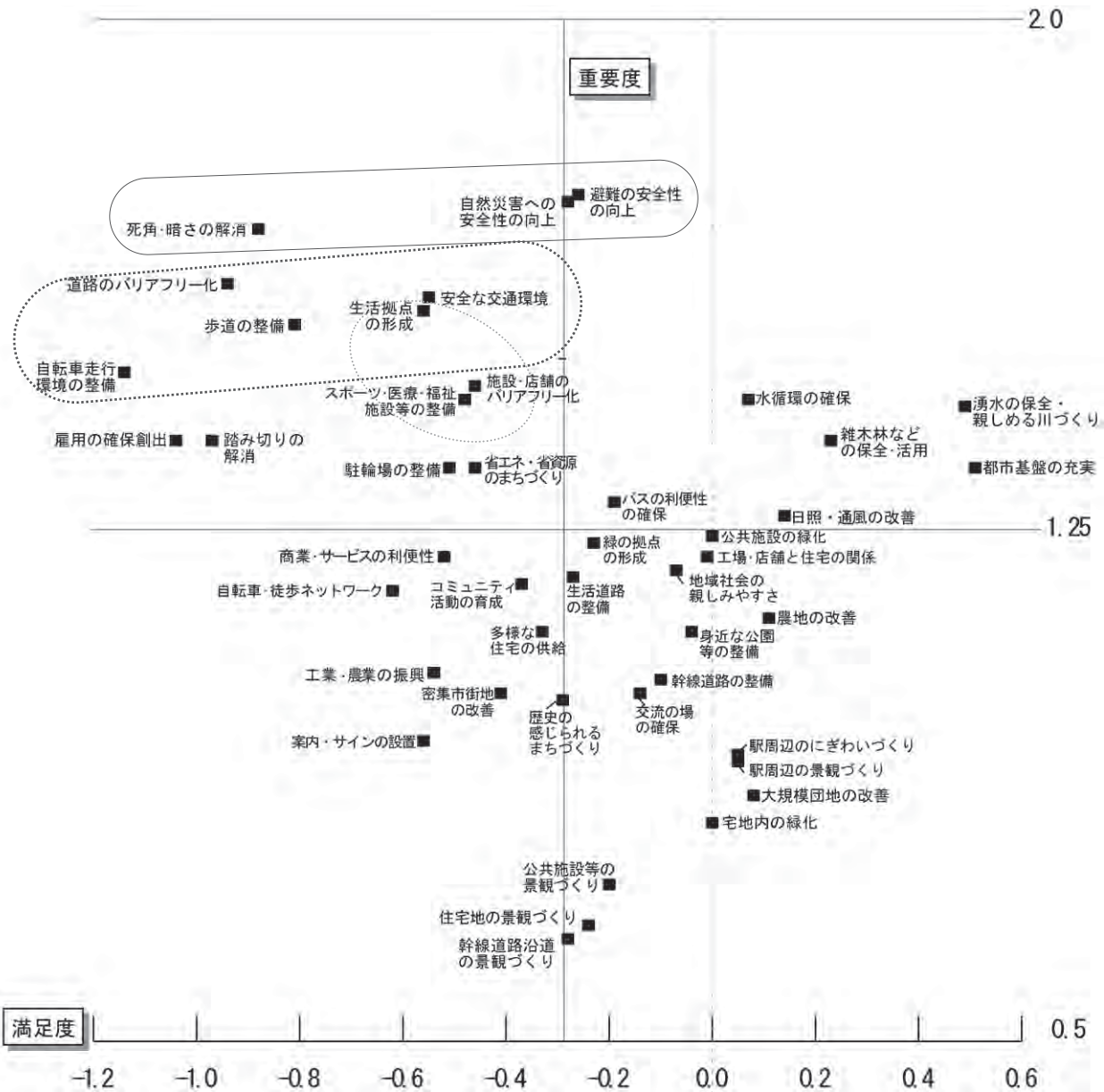
- ・自然の保全・活用：湧水の保全・活用、川、雑木林の保全・活用、水循環の確保

現行の都市計画マスタープランに位置づけられている項目について、実現の満足度が低く、今後の重要度が高い項目、つまり優先度が高いと考えられる項目は、主に以下の3分野でした。

- ・「自転車走行環境の整備」「踏み切りの解消」「道路のバリアフリー化」「歩道の整備」など、道路通行環境に係る項目の満足度が低く、重要度が高い。
 - ・「死角・暗さの解消」「自然災害への安全性の向上」「避難の安全性の向上」など、身の安全の確保に係る項目の満足度が低く、重要度が特に高い。
 - ・「身近な生活拠点の形成」「スポーツ・医療・福祉施設等の整備」「施設・店舗のバリアフリー化」など、日常生活の利便性・安心に係る項目の満足度が低く、重要度が高い。
- 一方、
- ・満足度も重要度も高い項目は、「湧水の保全・親しめる川づくり」「雑木林などの保全・活用」「水循環の確保」など自然にかかわる項目でした。

（以上、図の2-3）

図 2-3 現行の都市計画マスタープランに位置づけられた事項の満足度・今後の重要度



資料) 東久留米市都市計画マスタープランの中間見直しのための市民アンケート (平成 22 年 1 月実施)

■市民、市外居住者、市内事業所すべてが評価する「水とみどり」

- ・市民が東久留米市で、特に大切にしたい、活かしたいと思うものでは、「南沢湧水群」「黒目川の水辺」「落合川の水辺」が上位にあがりました。（図 2-4）また、先の満足度・重要度では、「湧水の保全・親しめる川づくり」「雑木林などの保全・活用」の満足度・重要度ともに高くなっています。（図 2-3）
- ・市内事業所が東久留米市のまちづくりでよいと評価したのは、「水とみどりに囲まれた環境」「自然を残しているところ」「黒目川、落合川の整備」でした。（表 2-1）
- ・市外居住者は東久留米市を、「住宅都市」「水と緑の豊かな都市」「特徴のない都市」と評価しています。（図 2-5）

図 2-4 市民が、東久留米市や居住地域で、特に大切にしたい、活かしたいと思うもの

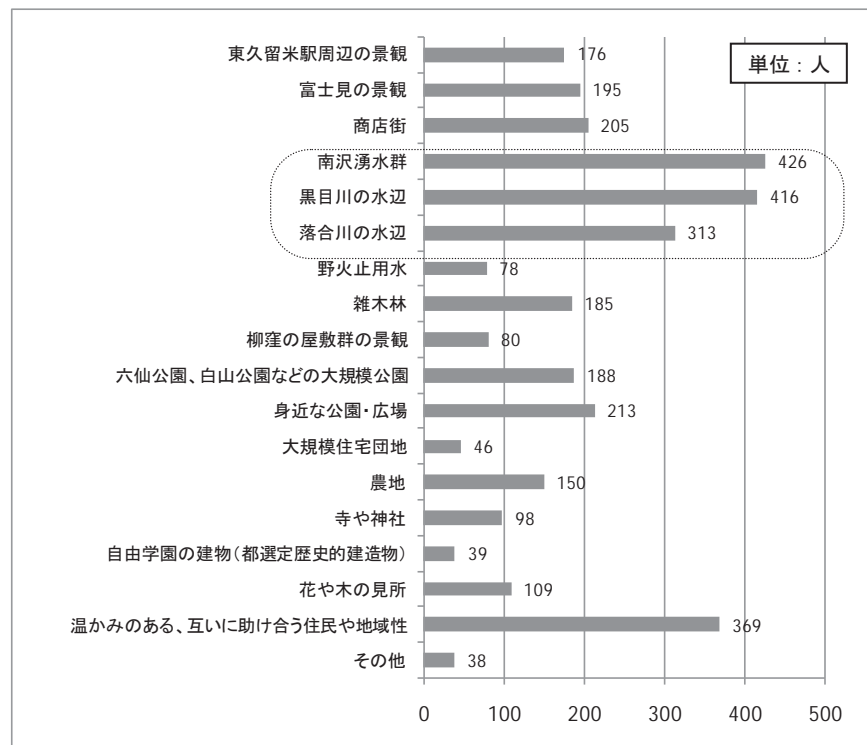
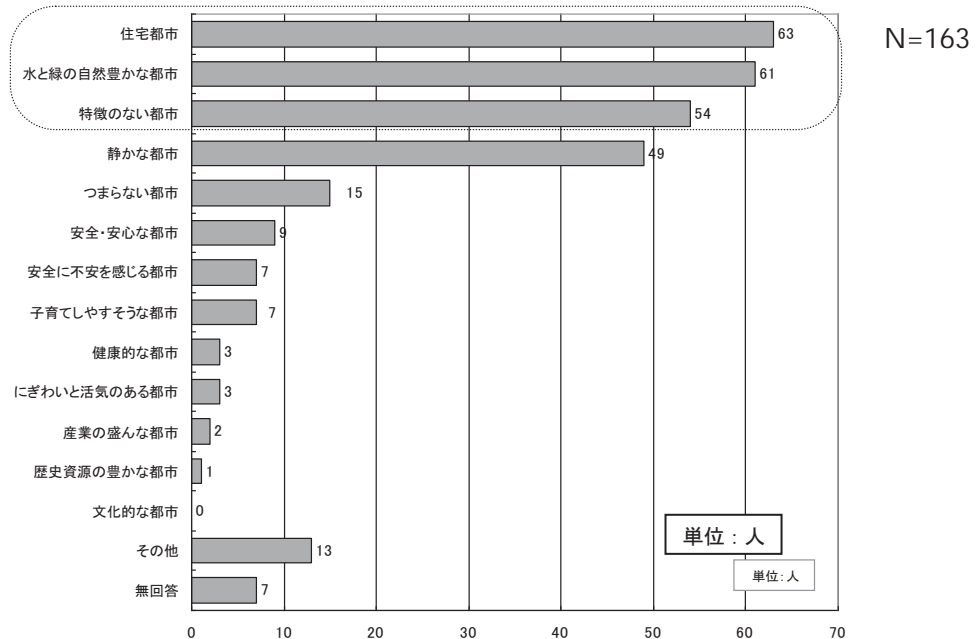


表 2-1 市内事業所が、東久留米市のまちづくりに関して良いと評価している点 (回答事業所数=3)

- ・水とみどりに囲まれた環境づくりをお願いします
- ・自然を残しているところはよい
- ・黒目川、落合川の整備

図 2-5 市外居住者は、東久留米市をどのような都市と感じているか？



資料) 以上すべて、東久留米市都市計画マスタープラン中間見直しのためのアンケート (平成 22 年 1 月実施)